

なぜ、和也は涙を流したのだろう。

- ① 文通をしなくなった1年間の中身が違う。自分は来なくなったことをいいわけにして書かなかった。和也は1年間僕のことを考えてくれていた。うれしい。ありがとう。
- ② 手紙をくれない正一の気持ちを考えていた。でもくれないのではなく書けなかった。一生懸命がんばろうとしている正一の思いの深さに和也はショックを受けた。
- ③ 僕のことをしっかり思ってくれていたのだ。うれしい。
- ④ うれしい。1年間僕は手紙を書いていないけれども、正一はちゃんとした理由があった。僕のことを思ってくれていたのだ。
- ⑤ 正ちゃんは自分という存在を支えにしてくれていた。僕が支えになっていいのかな。僕にとって正ちゃんは何だろうな。
- ⑥ 和也には後悔の気持ちがある。自分は日常に埋没してしまっていた。正ちゃんは僕のことを1年間考えてくれていた。僕も手紙を出せばよかったという後悔の気持ち。
- ⑦ 1年前互いに手紙のやりとりをしていたのに、でも手紙を書かなくなった。正ちゃんは版画を彫っていた。正ちゃんは自分のことを信じてくれていた。うれしい。
- ⑧ 正ちゃんはこんなに自分のことを思ってくれている。病気に負けないようにがんばっているのに、僕は何だったのだろう。
- ⑨ 今まで正ちゃんは友だちと思っていたけれども、1年間のブランクはあったけど、正ちゃんが思っている友だちと僕が思っている友だちでは重みが違う。
- ⑩ 僕も正ちゃんのことをすごく大事で好きであることに気がついた。会いたいな。

正一はどんな思いで、1年間彫っていたのだろうか？正一は和也に見てもらえると思っていたのか？

- ① 奇跡、偶然、もしかしたら見てもらえる。
- ② 見てもらいたいというよりも、正一にとって、僕は誇れる友だちという思いを持って彫っている。
- ③ 作品展というよりも、彫ることの方に思いがある。和也と共にがんばっているという思い。彫ることが大切。
- ④ 正一にとって、和也はかけがえのない存在。和也に手紙を書きたいという思いで、1年間版画を彫っていた。無心の思い。

何で和也に手紙を書いて知らせないの？

- ① 1年前、和也の顔を彫ろうと思って始めた。1年間手紙を書かなかったのは忘れたわけではない。書かなかった。この作品ができるまで・・・
- ② どうして書かなかったのかわからない。
- ③ 和也と同じ思い。手紙を書こうという思いはあったけれども、手紙は書かなかった。

電車の中で何を考えていた

- ① 正一にできることは版画を彫ること。僕は正一に何ができるだろうか？
- ② どうして僕の顔？ どうして作品展のことを知らせの？
- ③ 正一はそんなに自分のことを大切にしてくれている。小さい頃からの友をについて考えていた。
- ④ 常に連絡を取りあっていないと友だちとして不安に思っていたけれども、本当の友だちは距離は関係ない。
- ⑤ こんな僕と友だちでいてくれてありがとう。





















